

# 2020年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

2019年7月31日

上場会社名 株式会社エス・ディー・エス バイオテック 上場取引所 東

コード番号 4952 URL http://www.sdsbio.co.jp/

代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)寒河江 充宏

問合せ先責任者 (役職名) 理事管理部長 (氏名) 深澤 良彦 TEL 03-5825-5511

四半期報告書提出予定日 2019年8月1日 配当支払開始予定日 -

四半期決算補足説明資料作成の有無:無 四半期決算説明会開催の有無:無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第1四半期の業績(2019年4月1日~2019年6月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高	5	営業利:	益	経常利	益	四半期純	利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第1四半期	2, 220	△8.7	△2	_	404	216. 7	460	_
2019年3月期第1四半期	2, 431	_	106	_	127	_	21	_

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第1四半期	58. 78	_
2019年3月期第1四半期	2. 78	_

### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第1四半期	13, 734	6, 132	44. 7
2019年3月期	13, 659	5, 822	42. 6

(参考) 自己資本 2020年3月期第1四半期 6,132百万円 2019年3月期 5,822百万円

#### 2. 配当の状況

		年間配当金					
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計		
	円 銭	円銭	円銭	円 銭	円銭		
2019年3月期	_	12. 50	_	12. 50	25. 00		
2020年3月期	_						
2020年3月期 (予想)		12. 50	I	12. 50	25. 00		

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無:無

## 3. 2020年3月期の業績予想(2019年4月1日~2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高 営業利益 経常利益		引益	当期純利益		1株当たり 当期純利益			
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	13, 550	17. 0	1, 110	12. 8	1, 430	41. 7	1, 110	183. 7	141. 74

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無:無

当社は年次での業務管理を行っておりますので、第2四半期(累計)の業績予想の記載を省略しております。

### ※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用:有

(注)詳細は、添付資料 P. 7「2. 四半期財務諸表及び主な注記(3)四半期財務諸表に関する注記事項(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無② ①以外の会計方針の変更 : 無③ 会計上の見積りの変更 : 無④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

2020年3月期1Q	7, 830, 925株	2019年3月期	7, 830, 925株
2020年3月期1Q	72株	2019年3月期	51株
2020年3月期1Q	7, 830, 862株	2019年3月期1Q	7, 830, 876株

- ※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です
- ※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## (株)エス・ディー・エス バイオテック (4952) 2020年3月期 第1四半期決算短信 (非連結)

# ○添付資料の目次

1.	当匹	9半期決算に関する定性的情報	2
	(1)	経営成績に関する説明	2
	(2)	財政状態に関する説明	3
	(3)	業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2.	四半	<b>- 期財務諸表及び主な注記 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・</b>	4
	(1)	四半期貸借対照表	4
	(2)	四半期損益計算書	6
		第1四半期累計期間	6
	(3)	四半期財務諸表に関する注記事項	7
		(継続企業の前提に関する注記)	7
		(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
		(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
		(セグメント情報)	7

#### 1. 当四半期決算に関する定性的情報

#### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間(2019年4月1日~2019年6月30日)における我が国の経済は、政府の経済政策による雇用・所得環境の改善、個人消費の持ち直しにより、緩やかな回復基調が続いております。また、世界経済においても景気の緩やかな回復が続いておりますが、通商問題の動向が世界経済に与える影響に一層注意するとともに、中国経済の先行きや金融資本市場の変動の影響等について留意する必要があります。

農業を取り巻く環境は、世界的には人口増加や新興国の経済成長等に伴って農作物需要が拡大しており、中長期的にも成長が継続するものと思われます。一方で、世界農薬市場においては海外大手農薬メーカーの大型合併や事業売却が進んでおり、農薬市場における影響を注視していく必要があります。

このような中、当社の状況は、横浜工場原体製造設備を再開したことで、殺菌剤分野において海外ダコニール関連剤(原体及び製剤)の出荷が増加いたしました。しかしながら、水稲除草剤分野や緑化関連剤分野は取引先の引取り時期の遅れから低調に推移したことに加え、第1四半期会計期間は閑散期にあたることから、当第1四半期累計期間の売上高は22億20百万円(前年同四半期比2億11百万円減)、営業損失は2百万円(前年同四半期は営業利益1億6百万円)となりましたが、受取配当金及び受取保険金を計上したことで、経常利益は4億4百万円(前年同四半期比2億76百万円増)、四半期純利益は4億60百万円(前年同四半期比4億38百万円増)となりました。

当社の販売する製品は、農繁期に備え、冬季から春季にかけて出荷が集中する傾向にあります。そのため、第3四半期会計期間(10月1日から12月31日まで)、第4四半期会計期間(1月1日から3月31日まで)に売上が集中する傾向にあります。

当社は農薬事業セグメントのみの単一セグメントではありますが、事業の傾向を示すために品目別に販売実績を 記載いたします。

#### (殺菌剤)

当第1四半期累計期間における売上高は8億57百万円(前年同四半期比2億71百万円増、46.2%増)となりました。これは主に、横浜工場原体製造設備の再開により、海外ダコニール関連剤の出荷が増加したことによるものです。(水稲除草剤)

当第1四半期累計期間における売上高は4億84百万円(前年同四半期比16百万円減、3.3%減)となりました。 これは主に、国内向け水稲除草剤原体の出荷時期ずれによるものです。

#### (緑化関連剤)

当第1四半期累計期間における売上高は5億93百万円(前年同四半期比1億15百万円減、16.4%減)となりました。 これは主に、クロレート関連剤の出荷減少と海外向けダクタール原体の出荷時期ずれによるものです。

#### (殺虫剤)

当第1四半期累計期間における売上高は1億40百万円(前年同四半期比4百万円増、3.4%増)となりました。 これは主に、D-D関連剤の出荷が好調に推移したことによるものです。

### (その他)

当第1四半期累計期間における売上高は1億44百万円(前年同四半期比3億54百万円減、71.0%減)となりました。これは主に、ダコニール原材料の出荷が減少したことによるものです。

#### (2) 財政状態に関する説明

当第1四半期会計期間末 (2019年6月30日) における総資産は137億34百万円であり、前事業年度末 (2019年3月31日) と比べて、75百万円の増加となりました。

流動資産は89億72百万円であり、前事業年度末と比べて7億27百万円の増加となりました。これは、主に現金及び預金の増加4億76百万円、受取手形及び売掛金の減少2億65百万円、たな卸資産の増加3億90百万円があったためです。

固定資産は47億62百万円であり、前事業年度末と比べて6億52百万円の減少となりました。これは、主に有形固定資産の減少9億42百万円、長期未収入金の増加3億46百万円、投資有価証券の減少74百万円があったためです。

流動負債は38億14百万円であり、前事業年度末と比べて23百万円の減少となりました。これは、主に買掛金の増加3億83百万円、未払金の減少1億97百万円、未払費用の減少2億10百万円があったためです。

固定負債は37億87百万円であり、前事業年度末と比べて2億11百万円の減少となりました。これは、主に長期借入金の減少1億93百万円があったためです。

純資産は61億32百万円であり、前事業年度末と比べて3億10百万円の増加となりました。これは、主に剰余金の配当による減少97百万円と四半期純利益による増加4億60百万円、その他有価証券評価差額金の減少51百万円があったためです。

#### (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年3月期の業績予想については、2019年4月25日の「2019年3月期 決算短信」で公表いたしました通期の業績予想に変更はありません。

## 2. 四半期財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期貸借対照表

(単位:千円)

	前事業年度 (2019年3月31日)	当第1四半期会計期間 (2019年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	323, 776	799, 832
受取手形	648	4, 297
売掛金	2, 872, 527	2, 602, 922
商品及び製品	3, 768, 579	4, 242, 648
仕掛品	8, 521	2, 078
原材料及び貯蔵品	646, 442	569, 518
前払費用	160, 722	337, 573
未収入金	408, 296	326, 124
その他	55, 342	87, 643
流動資産合計	8, 244, 855	8, 972, 639
固定資産		
有形固定資產		
建物(純額)	1, 115, 349	936, 600
構築物(純額)	194, 721	106, 683
機械及び装置(純額)	905, 579	213, 473
車両運搬具(純額)	5, 427	5, 302
工具、器具及び備品(純額)	89, 428	88, 067
土地	891, 545	891, 54
建設仮勘定	13, 268	31, 558
有形固定資産合計	3, 215, 320	2, 273, 232
無形固定資産		
ソフトウエア	31,062	26, 623
その他	2, 389	2, 389
無形固定資産合計	33, 451	29, 013
投資その他の資産		
投資有価証券	750, 638	676, 025
関係会社株式	846, 332	846, 332
長期前払費用	3, 143	2, 687
長期未収入金	_	346, 154
繰延税金資産	517, 718	540, 565
その他	47,699	48, 223
投資その他の資産合計	2, 165, 533	2, 459, 988
固定資産合計	5, 414, 306	4, 762, 234
資産合計	13, 659, 161	13, 734, 873

(単位:千円)

	前事業年度 (2019年3月31日)	当第1四半期会計期間 (2019年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	608, 297	991, 768
1年内返済予定の長期借入金	1, 597, 500	1, 537, 500
未払金	681, 347	483, 618
未払費用	715, 246	504, 470
未払法人税等	102, 000	193, 308
賞与引当金	122, 685	45, 725
預り金	4, 166	54, 704
その他	6, 505	3, 285
流動負債合計	3, 837, 749	3, 814, 383
固定負債		
長期借入金	3, 851, 000	3, 657, 250
退職給付引当金	137, 816	120, 064
その他	10, 473	10, 425
固定負債合計	3, 999, 290	3, 787, 740
負債合計	7, 837, 039	7, 602, 123
純資産の部		
株主資本		
資本金	810, 360	810, 360
資本剰余金		
資本準備金	77, 527	77, 527
利益剰余金		
利益準備金	183, 200	183, 200
その他利益剰余金		
繰越利益剰余金	4, 522, 200	4, 884, 613
利益剰余金合計	4, 705, 400	5, 067, 813
自己株式	△49	△67
株主資本合計	5, 593, 238	5, 955, 632
評価・換算差額等		2,111,002
その他有価証券評価差額金	228, 884	177, 117
評価・換算差額等合計	228, 884	177, 117
純資産合計	5, 822, 122	6, 132, 750
負債純資産合計	13, 659, 161	13, 734, 873
只识严县/生日日	15, 059, 101	15, 154, 615

# (2)四半期損益計算書 (第1四半期累計期間)

(単位:千円)

		(中位・111)
	前第1四半期累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
売上高		
商品売上高	21,651	23, 999
製品売上高	2, 410, 317	2, 196, 566
売上高合計	2, 431, 968	2, 220, 566
売上原価		, ,
商品期首たな卸高	10, 015	17, 175
製品期首たな卸高	3, 556, 116	3, 751, 403
当期製品製造原価	1, 767, 718	1, 982, 821
当期商品仕入高	20, 188	8, 854
合計	5, 354, 039	5, 760, 255
製品他勘定振替高	5, 499	19, 788
商品期末たな卸高	12, 532	6, 543
製品期末たな卸高	3, 688, 976	4, 236, 104
売上原価合計	1, 647, 030	1, 497, 818
売上総利益	784, 937	722, 747
販売費及び一般管理費	678, 792	725, 641
営業利益又は営業損失 (△)	106, 145	△2, 894
営業外収益		
受取利息	488	326
受取配当金	27, 430	434, 520
為替差益	767	· –
その他	1, 352	503
営業外収益合計	30, 039	435, 350
営業外費用		
支払利息	8, 403	7, 416
為替差損		20, 352
その他	0	0
営業外費用合計	8, 403	27, 768
経常利益	127, 781	404, 687
特別利益		
受取保険金	_	1, 154, 401
特別利益合計		1, 154, 401
特別損失		
固定資産圧縮損	_	935, 377
火災損失	95, 926	_
その他	0	0
特別損失合計	95, 926	935, 377
税引前四半期純利益	31, 854	623, 711
法人税、住民税及び事業税	10, 034	179, 283
法人税等還付税額	<del>-</del>	△15, 871
法人税等合計	10, 034	163, 412
四半期純利益	21,820	460, 299
· · · · / / / / · · · · · · · · · · · ·		100, 200

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第1四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実 効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

### (セグメント情報)

- I 前第1四半期累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年6月30日) 当社は、農薬事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。
- Ⅲ 当第1四半期累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年6月30日) 当社は、農薬事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。